

メッセージ

「2025年度 部落解放同盟京都市協議会 定期総会」のご開催を心よりお慶び申し上げます。木下松二議長をはじめ、関係各位のご尽力に敬意を表します。皆様には日頃より大変お世話になっており、厚く御礼申し上げます。

部落差別解消法、ヘイトスピーチ解消法等が成立し、社会における人権尊重の意識は高まっているものの、残念ながら、差別事象はなお根強く残っています。昨年、情報流通プラットフォーム対処法が成立しましたが、ネット上での誹謗中傷や差別情報の拡散等はおさまっていません。また、国内人権委員会の設置をはじめとした人権侵害救済制度の実現も急務です。包括的な差別禁止法の制定と、実効性ある人権救済機関の創設にむけて、小生も立憲民主党 人権政策推進議員連盟の顧問として、皆さんと手を携えながら、尽くして参ります。

一方で、私たちの暮らしも厳しい状況が続いています。物価高騰に歯止めがかからない中で、米国「トランプ関税」が日本経済にも大きな影響を及ぼそうとしています。食料品の消費税ゼロ、物価高を上回る賃上げ、ガソリン減税等、家計の支援にこれまで以上に力を注いで参ります。

また、今夏の参議院議員選挙京都選挙区において、立憲民主党は山本わかこさんを公認しました。大変厳しい戦いになりますが、議席を得るべく懸命に闘う決意でございます。

結びに、ご参集の皆様のご健勝と、部落解放同盟京都市協議会の益々のご発展を祈念申し上げ、メッセージとさせていただきます。

2025年5月20日

参議院議員 村山吉郎



お祝いの辞

本日は 2025 年部落解放同盟京都市協議会定期総会のご盛会を心よりお慶び申し上げます。

日頃より皆様には市民との連帯のもと、人権政策へのご提言活動に取り組まれ心より敬意を表します。

あらゆる差別の撤廃をめざし、また差別を助長する社会的制度の改革にむけて、私も皆様とともに活動してまいります。

京都市協議会のより一層のご発展をお祈りするとともに本日ご参集の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

2025年5月吉日

衆議院議員

泉 ケンタ
泉



祝　　辞

本日、「二〇二五年度部落解放同盟京都市協議会定期総会」が開催されますことに、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃からのご支援、ご鞭撻に対し、厚く御礼申し上げます。

私も皆様のご期待に応えられるよう、京都のため、日本のために、尚いつそう力を尽くして参る決意です。今後とも、ご指導を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

結びに、本日ご参集の皆様のご健勝とご多幸を、心からお祈り申し上げます。

令和七年五月二〇日

衆議院議員

北神　主朗



お祝い

本日「2025年度 部落解放同盟京都市協議会定期総会」が多くの皆様のご参加のもと盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

これまでにない規模の自然災害の発災や人口減少、世界情勢の変化、様々な技術革新、価値観の多様性は社会や生活、経済に対して急激な変化をもたらしています。しかし、時代が進んでも社会には未だに差別や偏見が根強く残っています。特に情報通信の発展により、インターネット上にソーシャルネットワークという新しいコミュニティが発達しましたが、その利便性以外にも匿名性や拡散性、個人の情報発信力の強化は意図せず偏見や差別、人権侵害の発信、誤った情報の氾濫という新たな問題を生み出しています。

このような状況の中、真に人権が尊重される豊かな社会を目指し、日夜様々な人権問題の解決や人権政策の確立と反戦平和のために取り組んでおられる、木下松二 議長をはじめ、部落解放同盟京都市協議会に結集される皆様の活動に敬意を表します。

また、日頃からの国民民主党京都府連ならびに所属する自治体議員や予定候補、幹事の諸活動に対しまして深いご理解と多大なご協力を賜り感謝申し上げます。

政治と金の問題を引き金として、国民の新しい政治を求める期待により、国会では新しい政治構造となり、政権与党が野党との政策論議と合意形成を得るという本来あるべき政治へと変わりつつあります。

私たちは国民の求める期待に応えるため、引き続き「生活者」「納税者」「消費者」「労働者」の立場に立つ改革中道政党として、旧来の思考と権利構造から抜け出せない旧体制を打ち破り、時代の変化に対応し、次代を見据えた抜本的な改革を「対決よりも解決」の政治姿勢を貫き、国民に信頼を得られる政治を目指し、「手取りを増やす」「国民のふところを豊かにする」「生活と雇用を守る」政策の推進・実現に向けて京都で実直に活動してまいります。皆様の地域で活動する所属国会議員や自治体議員、予定候補、幹事へご意見、ご要望などお寄せ下さい。しっかりと取り組んでまいります。

結びに、部落解放運動の更なる前進と、世界人権宣言や部落差別解消推進法の精神を深く受け止め、誰もが笑顔で暮らせる真に人権が尊重される、豊かな差別なき人権確立社会の実現を目指し、日々取り組まれておられる部落解放同盟京都市協議会と、そこに集う皆様、そして本日ご参加されておられる全ての方々のご発展とご健勝ご多幸を心からご祈念申し上げ、お祝いのメッセージとさせて頂きます

2025年 5月 20日

国民民主党京都府総支部連合会

会長 中野 洋一



部落解放同盟京都市協議会
会長 木下 松二 様

メッセージ

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2025年度定期総会のご開催を心よりお祝い申し上げます。

あらゆる差別をなくし、人権を確立する闘いに対して日々ご尽力
いただいていることに心から敬意を表します。

私たちも皆様としっかり課題を共有し、協力してまいります。

今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

むすびに、今大会が実り多きものとなりますとともに、今後ますますのご発展をお祈り申し上げ、お祝いのメッセージとさせていただきます。

2025年5月20日
民主・市民フォーラム京都市会議員団
団長 天方 浩之

2025年部落解放同盟京都市協議会定期大会へのメッセージ

本日は2025年部落解放同盟京都市協議会定期総会の御盛会を心よりお慶び申し上げます。

欧米における「不寛容」な政治勢力の台頭、在日クルド人に対するヘイトなど、内外で「分断」がキーワードとなる中、「人間を尊敬する事によって自ら解放せんとする者の集団運動」としての活動を継続しておられることに敬意を表します。

社会民主党は『社会民主党宣言』で「あらゆる差別をなくし、人権と社会参加の条件を等しく保障することで、誰もがともに生きていくことができるよう、連帯を柱に据えた共生社会』の実現を掲げています。あらゆる差別をなくすための取り組みを共に進めてまいりましょう。

部落解放同盟京都市協議会の一層のご発展とご活躍をお祈り申し上げ、メッセージとさせていただきます。

2025年5月20日

社会民主党京都府連合
代表 中村 在男



2025年5月20日

部落解放同盟 京都市協議会様

定期総会が盛大に開催されることに対し、心よりお祝い申し上げます。

厳しい経済情勢が続いている中ではありますが、地道な努力で部落完全解放実現に向けた取り組みを進めるための活発な討議をされますことを祈念し、ご挨拶と致します。

京都交通労働組合

執行委員長 佐 田 悟

部落解放同盟京都市協議会

議長 木下 松二様

メッセージ

2025年定期総会のご開催を心からお祝い申し上げます。また、みなさまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、常日頃より京水労に対するご厚情に、心から感謝申し上げます。

埼玉県八潮市で発生した下水道管の破損事故に端を発し、最近メディアを中心に水道事業や下水道事業がスポットライトを浴びています。わたしたちの事業が、世間から注目されることは悪いことではありません。それは、市民や地域住民に理解を深めもらえる機会になり得ると考えるからです。一方で、良い注目のされ方をしているかといえば、そうとも言い切れません。水道管や下水道管の老朽化、さらには老朽化に伴う漏水や道路陥没事故など、住民の不安を煽るような報道が目に余るようになってきており、偏向報道には違和感を覚えざるを得ません。

また、ここ京都市でも1月には水道管の破損を起因とした漏水により、山科区で広範囲にわたって濁水が発生しました。このような緊急事態に直面したときに重要なのが、技術力を有する経験豊富な中堅・ベテラン職員が持つ能力をいかんなく發揮することで迅速に事態を収束させることと、若手職員が実際に現場を経験することで中堅・ベテラン職員が持つ確かな技術力を継承し、実践での経験を高めることです。技術継承をしっかりと進めるためには、中堅・ベテラン職員と若手職員が信頼関係の下、お互いを尊重しあえる職場環境が確立されていなければなりません。

しかし、近年、人材確保を理由に新規採用職員や若年層組合員の給与は大幅にベースアップを図られた一方、中堅・ベテラン層はベースアップを低く抑えられています。さらには、55歳での昇給停止も相まって、ベテラン層組合員はモチベーションの維持に苦しみ、中堅組合員は将来に不安を感じて退職者が増加しています。若年層にベースアップが偏る現状は、一定理解はするものの、職場内での世代間の分断を生み、技術継承の土壌が十分に形成されているとは言えません。

「自分たちだけが良ければそれでいい」と考えるのではなく、一つの目標に向かい全世代の組合員が邁進できる。京水労は、これからも常に全世代の組合員や市民の立場に軸足を置いたうえで労働運動を展開していく決意であります。今後も厳しい情勢が予想されますが、未来のため共に連帯して闘いましょう。

2025年5月吉日

京都市水道労働組合

執行委員長 隼木 基



2025年5月20日

部落解放同盟京都市協議会
議長 木下 松二 様

メッセージ

部落解放同盟京都市協議会 2025年度定期総会が盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

貴協議会におかれましては、部落解放やあらゆる人権の確立、すべての人々の平等と人命が守られる社会を築く活動に日々邁進されていることに対し、深く敬意を表します。

さて、世界各地で起こっている紛争や内戦は今も繰り返され、多くの民間人や子どもに大きな犠牲を強いています。一刻も早い停戦と終結が求められます。ロシアによるウクライナ軍事侵攻は3年以上経過し、停戦の話し合いがされるもまだ争いが続いている。国内では物価やエネルギー価格の上昇、とりわけ米の価格の高騰で日々の生活の不安や不満、先が見えないことへの憂慮が高まる中において、昨年9月の自民党総裁選で石破総裁となつた自民党は「政治とカネ」の問題の全容を明かさず不透明なまま、政治が変わらないことで私たちの生活は苦しくなっていく一方です。このような社会が、人の思いやりを助け合いの気持ち、心のゆとりをなくしてしまうからこそ、誰もが平等に生きる権利、安心して暮らせるようにあらゆる差別を許さない社会実現に向けて、取り組みを進めなければなりません。依然として、私たちを取り巻く情勢はとても厳しいですが、手を携え、ともにたたかっていきましょう。

本日の2025年度定期総会で実りある方針が決定され、組織のさらなる団結と貴協議会のますますのご発展とご参加の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、連帶のメッセージとさせていただきます。

京都市学校給食職員労働組合
執行委員長 橋本 正樹



部落解放同盟京都市協議会
議長 木下 松二 様

メッセージ

部落解放同盟京都市協議会定期総会のご盛会を心よりお祝い申し上げます。また日頃より学職労の活動に対し、ご理解とご協力を賜りまことにありがとうございます。

私たちを取り巻く環境は依然厳しい情勢にありますが、私たち働くものの生活と権利、労働条件の維持・向上のためともにがんばりたいと思います。

終わりに、貴大会のご成功と発展を祈念し、連帯と激励のメッセージとさせていただきます。

2025年5月20日

京都市学校職員労働組合
執行委員長 相良 和恵

